

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物、特別管理産業廃棄物処理業の許可を取得し、講習を受けており、環境汚染予防に取り組んでいる			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		請求書などを元に数値を把握し、記録をとっている。製造過程でエネルギー消費を抑えた再生アスファルトを使用している							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		主にガソリンを削減するため、乗り合わせをして現場に向かう、経路確認等実施している。電力会社、ガス会社からの明細より使用料を記録し、燃料は購入時の明細より記録する		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		従来の不透水性舗装では雨水が地面に浸透せず地下水減少や洪水を招く可能性がある為、透水性舗装を行い雨水が地面に浸透するのを助け、生態系への悪影響を最小限にしている					6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		再生可能な木材は洗浄後、乾燥させ、再利用している。砕石は再生クラッシュランを使用している									9.4		12.2 12.4 12.5			14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		アスファルトやコンクリート工事の過程で大量の水を使用する場合、節水シャワーヘッドを取付、少ない水でも水圧を維持、向上させ、手元での止水を行っている		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生紙、リサイクルトナーカートリッジ等使用している										9.4		12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17		
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		プランターを使用し事務所壁面へ緑のカーテンを作っている											11.6 11.7			13.1 13.3		15				17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		独立型の太陽光発電機を購入し、オフィスの節電にも取り組んでいる								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		事務所近辺に竹林が多い茂っており、管理者が高齢により手入れ困難の為、適切な伐採を行い、竹を土地へ置き、環境を整えている						6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13			15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		営業車1台がグリーン購入法適合している 環境負荷の少ない車を使用している										9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

